

PIEGA User Manual

**PIEGA PS101
Active-Subwoofer**

PIEGA
S W I T Z E R L A N D

ご使用の前に

本取扱説明書をよくお読みいただき、以下の点にご注意ください。PIEGA PS101をセットするときには、必ず以下の手順をお守りください。

WARNING To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this appliance to rain or moisture.



DOUBLE INSULATION – When servicing use only identical replacement parts.

安全注意事項

PIEGA PS101サブウーファーは、PIEGA社のスピーカー製品をはじめ、他社のスピーカー製品と組み合わせることが可能です。実際に電源を入れる前に、PS101がこの取扱説明書通りに設置され接続されている事をお確かめください。

この製品は、乾燥した10°C～40°Cの温度範囲の室内でのご使用をお願いいたします。

感電の恐れを避けるため、背面パネルを外さないでください。資格を有する専門業者以外は内部の点検、修理をしないでください。

本体を電源から完全に切断するには、ACプラグを壁コンセントから引き抜いてください。本体をセッティングする際には、背面のACアウトレット近くにある電圧切り替えスイッチが、115V AC電圧に切り替えられていることをご確認ください。

リサイクルについて

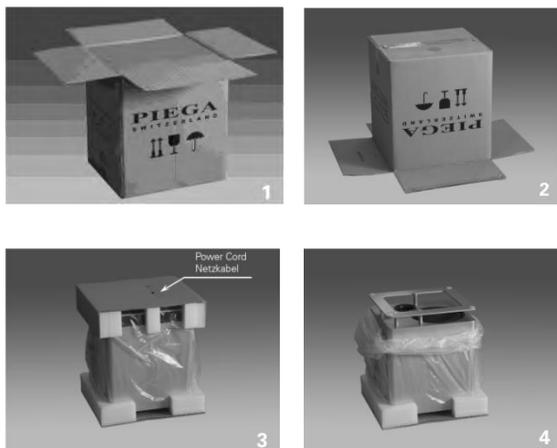
本製品の梱包材はリサイクル/再生利用が可能です。お住まいの地域のルールに従ってリサイクルにご協力ください。

機器本体を破棄する際は、お住まいの地域の規定に従い、破棄をお願いします。



開梱方法

本取扱説明書をよくお読みいただき、以下の点にご注意下さい。



スピーカーの開梱

スピーカーを取り出すときには、製品や周囲のものに損害を与えないように二人以上で注意深く作業を行ってください。また、開梱時にアルミニウムの筐体にキズがつくことを避けるため、宝飾品や腕時計などはあらかじめ取り外しておいてください。

手順：梱包を開けてから、ゆっくりと傾け、保護緩衝材ごとスピーカーシステムを取り出してください。

重要：PIEGA のスピーカーシステムは、磨きこまれたアルミニウムによってキャビネットが形作られています。包みを解くとき、移動させる時などは特に慎重に扱うようにしてください。

日常の使用について

PIEGA のスピーカーシステムは、最高品質の磨きこまれたアルミニウムによってキャビネットが作られています。この素材はキズがつきやすいので丁寧に扱ってください。



お手入れの方法

キャビネットは柔らかく毛羽だちの少ない布で拭いてください。汚れがついたときは、必要に応じて固く絞った柔らかい布で、拭きとってください。

注意：有機溶剤などは絶対に使用しないでください。また、クレンザーなどの磨き粉が入ったものも絶対に使用しないでください。

端子

ステレオ再生、サラウンド再生のために、各種の接続端子が用意されています。

- ✓ 電源ケーブルを接続する前に、電源ソケット横にあるAC電圧切替スイッチが115V側にセットされていることをご確認ください。
- ✓ 各種ケーブルを接続するときにはPS101の主電源が入っていないことを確認してください。

1 HIGH PASS

「HIGH PASS」スイッチは、サテライトハイパスの **2** LINE出力のフィルタリングを可能にします。スピーカーのサイズに応じて、60Hz, 80Hz, 100Hzを選択できます。

2 Output

ハイパスフィルター付きサテライトのライン出力

3 Input

ライン入力。プリアンプ、AVアンプのPREOUT信号を入力します。

4 LFE

低周波エフェクト入力

この入力は内部ローパスフィルタリングをバイパスします。その場合、**7** クロスオーバー機能はアクティブではありません。この入力は、対応可能なサブウーファー出力（AVアンプのサブ出力）のみ使用してください。

5 HIGH-LEVEL INPUT

スピーカーケーブルを使用してパワーアンプの出力からPS101へ接続します。スピーカーケーブルはバナナプラグ、Yラグ、裸線などに対応

6 LEVEL

このノブを回すことでPS101の出力レベルを調整します。

7 CROSSOVER

このノブを使ってサブウーファーの上限周波数を設定します。

8 PHASE

このスイッチを使用して、サブウーファーを「同相」または「逆相」に設定します。ご使用のスピーカーのタイプに応じて、サブウーファーとスピーカーの間の位相キャンセル（基調が低い）または正しい位相（通常の基調）を設定します。再生環境に応じて0° / 180°で切り替えます。

9 AUTO ON

主電源が入っている状態でこのスイッチが「AUTO」側にセットすると、入力信号を受け取ると自動的にPS101が起動して再生可能状態となります。入力信号が一定時間途絶えたときはスタンバイ状態になります。「ON」側にセットすると、常時再生可能状態となります。



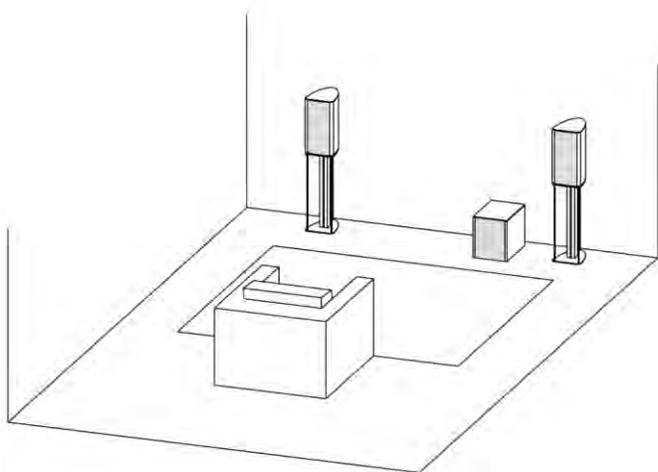
AC電圧切替スイッチ：
 ※必ず115V側にてご使用ください。

主電源スイッチ：
 長時間ご使用にならない場合、主電源をお切りください。
 近くで落雷などの場合は主電源を切ったうえでコンセントを抜いてください。

インストール例

PS101はコンパクトなサイズですので、お部屋のどこにでも設置可能です。より豊かで自然な音場を構築するには、PS101を2つのメインスピーカーに近接させ、なるべくしっかりした床に置かれる事をおすすめします。

ステレオモード



設置場所：

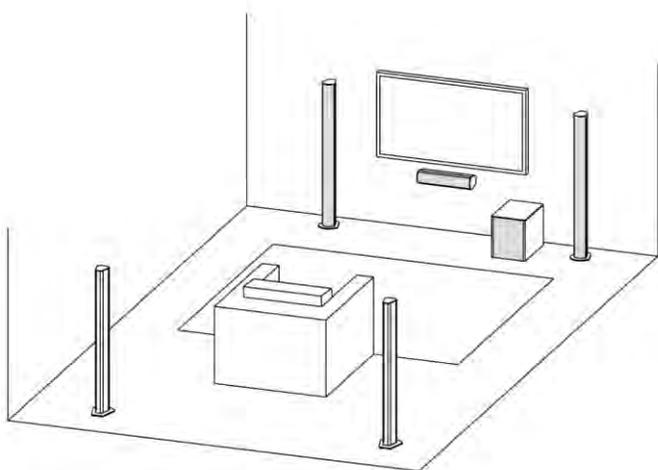
ステレオ2chモード、サラウンドモードに関わらず、できるだけ前方2本のメインスピーカーに近い位置にPS101を置くとよいでしょう。

PS101の接続端子は壁向きにしてください。

PS101の周囲にはなるべく物を置かないでください。

危険防止のため、本体の上に花瓶などを置かないでください。内部に水分が入ってしまった場合、故障の要因になることがあります。

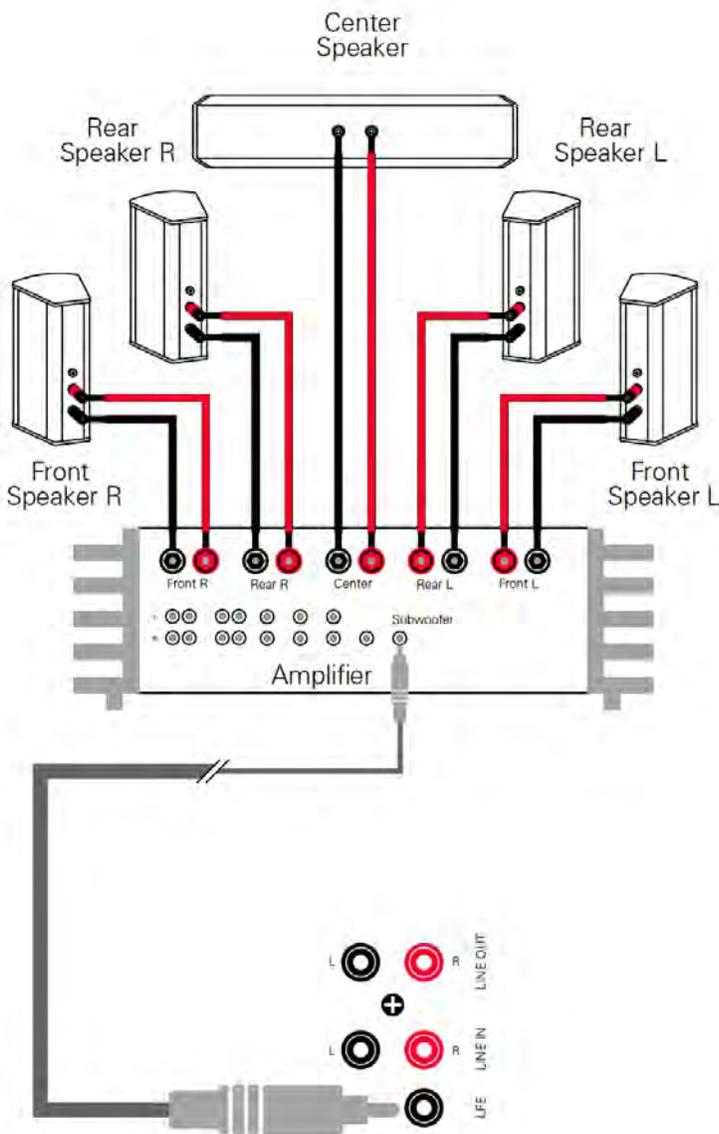
サラウンドモード



接続方法

5.1chなどの各種サラウンドモードで音声を楽しむ際には、AVアンプからのLFE出力をPS101へ入力します。この場合、低音のクロスオーバー周波数の設定はAVアンプで行いますので、PS101のLOW PASS設定は無効となります（4ページ参照）。

<AVアンプを使用したサラウンドシステムの例>



接続：

PS101のLFE/IN端子とAVアンプのLFE、SUBWOOFERなどと記載された出力端子とをRCAピンケーブルで接続してください。

front/rear/centerの各スピーカーとAVアンプとをスピーカーケーブルで接続してください。

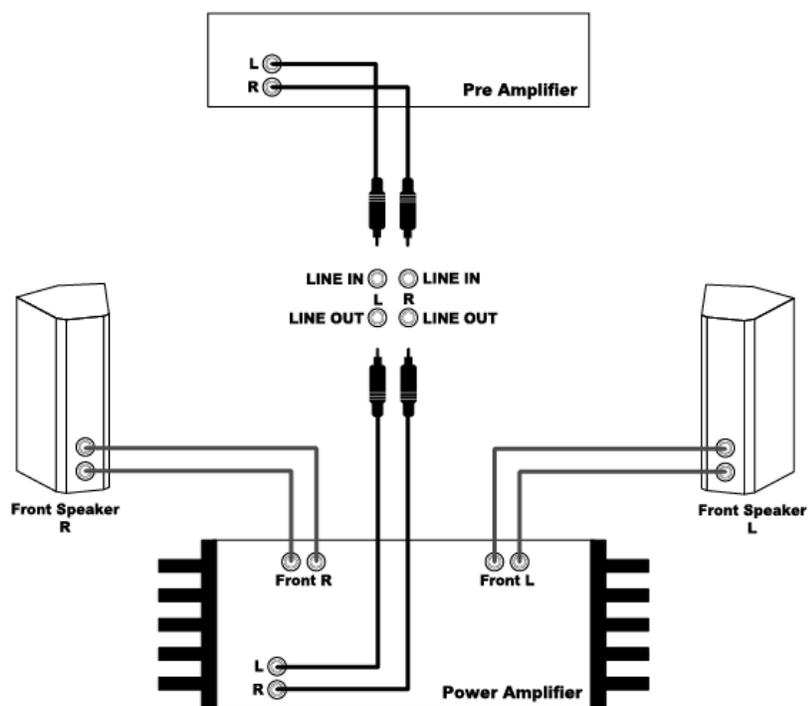
接続方法

プリ・パワーアンプのようなセパレートアンプによるシステムと、pre out端子経由でPS101を接続することが出来ます。この場合は、LFE出力のように信号に対して高域がカットされていませんので、PS101のLOW PASSノブでPS101の再生上限周波数を調整しなければなりません。

この場合、PRE OUT端子からPS101へ入力して、PS101内部でローカットした信号をパワーアンプの入力端子に入れることが可能となります。こうすることで、メインスピーカーを駆動するパワーアンプ部の負荷を軽くすることが可能となります。

LOW PASSノブでPS101の高域出力限界を調整してください。Output端子から出力されるのは、LOW PASSノブによって低域をカットされた信号です。

<プリアンプ・パワーアンプを使用したステレオシステムの例>



接続：

PS101のLINE IN端子とプリアンプのPREOUTと記載された出力端子とをRCAピンケーブルで接続してください。

PS101のLINE OUT端子とパワーアンプのLINE IN端子とをRCAピンケーブルで接続してください。

Technical Date

model	PS 101
構成	バスレス型アクティヴサブウーファー
推奨アンプ出力	300W(ピーク)、150W(RMS)
能率	可変
再生周波数帯域	28 Hz ~ 200Hz (-3dB / 可変)
ハイカット周波数調整範囲	50 ~ 200Hz (-24dB / oct)
ユニット	22cm LDB Bass × 2 (同相駆動)
入力端子	LFE in, Line In, Hi Level in
出力端子	Line out (ハイパスフィルター付)
位相変動	0° / 180° (切替)
電源管理	常時 ON、または AUTO ON/OFF
消費電力	アイドル時:8W スタンバイ時:0.5W
サイズ	H42 x W36 x D40 cm(平型脚含む)
重量	25kg
仕上げ	本体:アルミニウムシルバー 天板:ポリッシュドアルミニウム カバーグリル:シルバー
オプション	ブラック仕上げ: ブラック塗装/天板アルマイト加工/ブラックカバーグリル ホワイト仕上げ: ホワイト塗装/ホワイトカバーグリル

保証について

PS101の内部電子機器に触れることは絶対におやめください！！

本製品の無償保証期間はご購入日から2年間ですが、以下の場合は保証の対象にはなりませんのでご注意ください。

- 1) ご使用上の誤り、お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる損傷、自然災害などによる損傷
- 2) シリアル番号が変更されている、もしくは無い場合
- 3) 取扱説明書、保証書に記載されている範囲外の操作が行われた場合
- 4) 不当な修理や改造を行った場合

輸入総代理店
有限会社フューレンコーディネート

フリーダイヤル： 0120-004884

URL： <http://www.piega.jp/>